伊豆箱根鉄道アフラック代理店による アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度への寄付について

伊豆箱根鉄道株式会社(所在地:静岡県三島市、代表取締役社長:伍堂 文康)は、2024年11月23日(土・祝)に開催した「いずはこねふれあいフェスタ2024」において、生活事業部保険課が行った「ラッキーボール」ゲームに参加した方からの募金総額25,153円を、代理店業務委託契約を締結しているアフラック生命保険株式会社(所在地:東京都新宿区、社長:古出 真敏)沼津支社を通じて「アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度」に寄付します。

当社保険課では、2009年から同フェスタにてゲームを実施し、参加者からの募金総額を都度、同奨学金制度に寄付しており、今回の寄付金額を含め総額472,469円となります。

今後も当活動を継続し、一人でも多くの小児がん経験者、がん遺児の助けになればと考えております。

これについて、アフラック沼津支社の藤田秀隆支社長に当社執行役員生活事業部長の中村公彦より募金の総額が入っている箱を手渡します。

詳細については下記のとおりです。

記

1. 日 時 2月4日(火) 10:00
2. 場 所 アフラック生命保険株式会社 沼津支社
静岡県沼津市大手町2-4-1 沼津第一生命ビル7階
3. 関係者 アフラック生命保険株式会社 沼津支社 支社長 藤田秀隆さま
伊豆箱根鉄道株式会社 執行役員生活事業部長 中村公彦
4. 寄付金額 25,153円(2024年11月23日に行われた「ラッキーボール」ゲームに参加した方からの募金総額)
※3つのボールを転がして台座にあいた穴にボールを入れた個数により貰える商品が異なるゲームです。
※「いずはこねふれあいフェスタ2024」の入場人員……約6,000名

“アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度”とは？

“アフラック小児がん経験者奨学金”とは、小児がんを経験した高校生や、がんで家庭の主たる生計維持者を亡くし、経済的理由から修学や進学のための支援が狭められている高校生への支援を目的とした奨学金制度です。「がん遺児奨学金基金」として1995年にアフラックとその販売代理店組織が共同で設立した制度に始まり、これまでに3,600名を超える奨学生を支援し、累計の奨学金額は21億円を超えています(2024年6月末時点)。2014年からは、奨学生の対象に小児がんを経験した高校生を加えた「アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度」として「公益財団法人がんの子どもを守る会」が運営を開始しています。当代理店では、この寄付を継続することにより、一人でも多くの小児がん経験者、がんで親を亡くした遺児の助けになればと考えます。

以 上